

公財) 埼玉県地方自治研究センター公開セミナーのお知らせ

地域包括ケアシステムとは何か

—取り組むにあたっての市民、行政・職員や議員の役割は—

日時：2017年7月15日(土) 14時から

会場：さいたま市浦和区 さいたま共済会館 505

講師： 信州大学 井上信宏教授

資料代：500円(会員は無料です)



地域包括ケア、「言葉は知っているけど」その具体的な取り組みについてしっかりと理解がされているでしょうか。埼玉県内では和光市、千葉県柏市などが取り組みの先進地だといわれています。しかし、その先進地でさえ「先頭に立っている人に支えられている」という指摘もあります。介護保険制度と医療制度の連携というだけでなく、崩壊しつつあるコミュニティを再構築する取り組みということもできるようです。「地域の再生」だという言い方もされています。改めて、「地域包括ケア」の意義と、その取り組みに向けての行政・職員、議員の役割について考えていきたいと思えます。

講師はテーマを専門的に研究されている信州大学の井上信宏教授です。(写真：自治労会館で)

講師のプロフィール



社会調査を通じて、高齢期の生きづらさを解決する方法を考えています。研究テーマは、人口減少局面に入った日本で〈誰もが、住み慣れた家で、地域で、安心して暮らし続けることができる社会〉をどうやって作るか。 著書紹介

「生活保障システムの転換と地域包括ケア」(第3章)

明石書店, 『地域包括ケアと生活保障の再編：新しい「支え合い」システムを創る』 2015

Author: 井上信宏(第3章 分担執筆) / 宮本太郎(編著)

自治労の組合員、取組方針策定に困っている担当者、自治体議員、介護・医療の現場で働いている皆さん、もちろん一般市民の方の参加も大歓迎です。

参加申込書

名前	住所	所属	連絡先電話

当日参加も歓迎ですが、資料準備のためできるだけ事前にお申し込みください。

申し込み先 FAX 048-836-1113

主催 公財) 埼玉県地方自治研究センター 共催 自治労埼玉県本部